

発明の名称: アナログ符号化システム

利用・用途・応用分野

無料開放特許

金融システム、情報通信システム、行政システム、移動体通信システム、放送システム、セキュリティシステム、防衛システムなど

目的・課題

解決ポイント

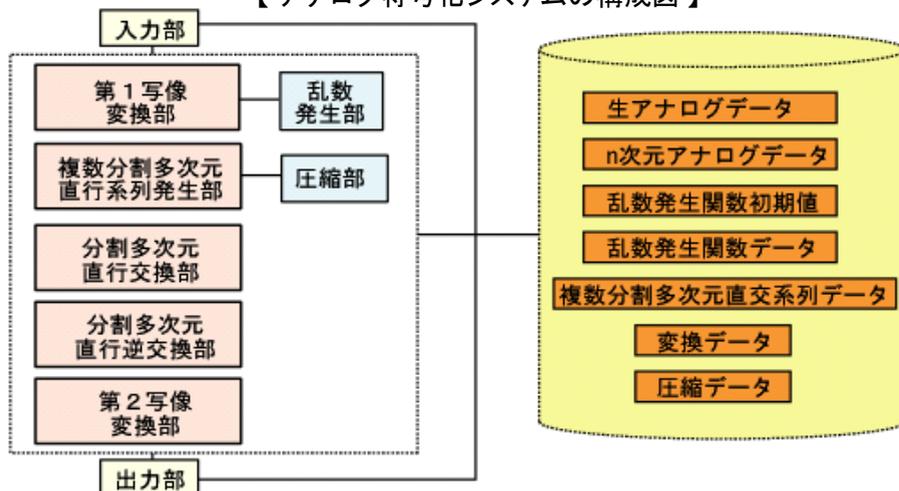
近年、ユビキタスネットワーク社会を迎えつつあり、情報伝送や保存は、音声や画像などのアナログ的情報が容易にやり取りできるようになった反面、他人に盗み見られないような情報保護を目的とした通信が要求されている。そのため雑音に対する耐性が強く、信頼性が高く、効率よく伝送できるようなデータ圧縮可能な符号化方式やシステムが望まれている。

複数分割多次元直交系列を使用した分割多次元直交変換を実行し実現されたアナログ符号化システムであり、縦続型のアナログ符号化方式である。雑音が分散され復元されるので耳や目には雑音が感知できない程度まで低減できる。並列型のアナログ符号化方式においても、縦続型のアナログ符号化方式と同様の利点が得られる。

研究概要・アピールポイント

安全性をできるだけ維持したまま高速化できるよう多値データを分割し、他の多値情報を鍵として合成できる。簡単な構成で容易に取り扱うことができ、高い品質を担保可能で秘匿性が高い特徴を有する。

【アナログ符号化システムの構成図】



◆ お問合せ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp